

明けまして、おめでとうございます、今年は例年になく寒さの厳しいお正月でしたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。自宅近くでは、ムラサキシジミとウラギンシジミしか見られませんが、横浜の公園ではムラサキツバメの集団越冬が観察できました。冬尺などの観察では、風邪をひかない様にご注意ください。
(総務幹事：田中和夫)

【11月例会】

日時：平成30年1月16日（火）（第3火曜日） 午後6：30～8：30
場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室
「一人一話」

【今後の例会予定】 午後6：30～8：30

2月27日（火）（第4火曜日、立川アイム5F第三学習室）
講演：大野和美氏 「ミャンマー蝶探査報告」
早坂弘次氏 「東アフリカ、ケニアの家族旅行」
3月18日（日）（第3日曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）
9：30～11：00 年次会員総会
11：00～12：00 記念講演：斎藤秀昭氏「ムシ屋と脳」
12：30～15：00 懇親会：花の舞にて
4月17日（火）（第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）
5月15日（火）（第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

【連絡事項】

1. 「会費納入」のお願い

グループ多摩虫は2018年3月から新年度に入りますので、2018年度の会費納入について下記のとおりお知らせします。会費の納入期限は今まで通り2月末までとしておりますので、よろしくお願ひします。

- ・会費 一般会員：4,000円、 学生会員：1,000円（高校生以下）
- ・送金先 ゆうちょ銀行振替口座
00180-0-67713
他銀行からの振込口座
金融機関：9900<ユウチョ>、 店番：019<ゼロイチキュー>
種目：当座、 口座番号：0067713、 口座名：グループ多摩虫

また1月から3月まで例会や総会の会場でも会費を受領することとしております。

会費の納入期限は2月末ですが例年総会には会員多数の出席が見込まれますので、3月に入っておりますが特別に対応することとしております。

例会や総会の進行に支障が出ないよう、所定の様式にご記入いただくこと、釣銭のないようご配慮いただくことをお願いしております。ご理解をよろしくお願ひします。 (会計幹事：藤塚弘)

2. 「会員の異動」

「新入会員の紹介」:

金子綾真 (カネコ リョウマ) : E-Mail: kr1125@yahoo.ne.jp 中学生
住所：〒206-0011 東京都多摩市関戸 6-7-19

「住所・アドレスの変更」:

小原みね子 (コハラ ミネコ) : 新 E-Mail: tajyuria0622@gmail.com

住所 : 〒197-0812 東京都あきる野市平沢 473-32

宮川勉 (ミヤカワ ツトム) : 新 E-Mail: miyaben7@icloud.com

住所 : 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町 2-3-19 107 号 OPUS

「姓名の変更」:

森田菜々 (モリタ ナナ) : E-Mail: picco_0317@yahoo.co.jp

住所 : 〒182-0025 東京都調布市多摩川 1-6-5 サンドエル調布 301 号

【11月例会 概要】

11月21日(火) 18時30分より武蔵野公会堂にて11月例会が開かれました。参加者は33名でした。今月はヤマトシジミ特集で、下記2本の講演がありました。

1. 石川光一氏「身近なチョウ・ヤマトシジミの世界」

ヤマトシジミに捧げる情熱はピカイチ!! 本年10月下旬から11月上旬にかけての13日間のトカラ列島調査では、採集許可を取って、本土亜種 (argia) と沖縄亜種 (okinawana) の境界を探りました。野外個体だけでなく、採集した♀に産卵させ羽化させた個体からその斑紋で判定する徹底ぶりです。未発表知見も多いそうですので、この日はさわりの感じでした。

棲息域について中国の黄河より北では未発見だとのことですが、青森まで達している、この日本という地は、ヤマトシジミには好適地帯なのでしょうか。

石川さんからの追加の話題提供

ヤマトシジミの北上が青森県の下北半島基部や青森市内まで既に到達していること。40年以上前の1975年に士別市で採集された1頭の画像を示し、北海道道南に進入するのは時間の問題であろうと述べました。そして偶然にもその翌日22日、蝶友から「本年10月4日、道南で雄1頭が採集されたとの報文がでた。」との情報が得られました。来年はその発生確認の調査で北海道行きとなりそうです。

2. 右田陽氏「冷温処理によるヤマトシジミの斑紋異常」(続編)

冷却処理による斑紋異常はイワカワシジミ、ミヤマシジミなど多くの蝶に出現しますが、特にヤマトシジミでは裏面に異常が出やすく、野外では春と秋に多く観察されているようです。分布の辺縁の青森県でも斑紋異常が多く見られます。

右田君の実験内容は、東京都西東京市で採集した母蝶に産卵させ、20~28℃の室内条件で飼育、蛹に5℃の冷却処理を施すもので、その結果、消失型、外向型、内向型の斑紋異常が生じました。また蛹化直後および冷却期間が長い方が斑紋異常が出やすくなるとのことでした。

ヤマトシジミはこの東京では本当によく見る蝶の一つですが、その奥深さを改めて痛感した講演でした。その後は二次会! この日は12名のこじんまり酒宴でした。(企画幹事 : 北川朝生)

【12月「忘年会」兼「昆虫何でも競り会」概要】

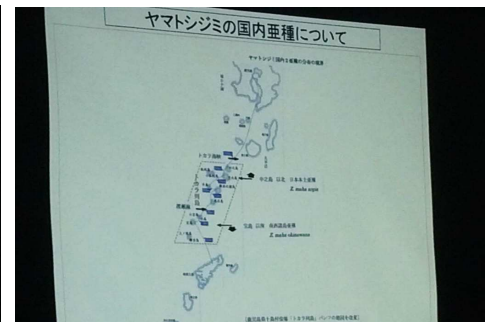
「忘年会兼昆虫何でも競り会」が、12月10日(日)にパレスホテル立川で開催されました。出席者は競り会のみの方も含めて55名でした。斎藤副代表が司会を務め、大野代表の挨拶・乾杯の後、しばしの会食の時を持ちました。競り会は今年は80点もの多くの出品があり早めにスタートされました。前半は会員に復帰した添氏が、後半は「昆虫王」である長畑氏が務めました。最後に、早坂さんの手締め、記念撮影と続いてお開きとなりました。希望者は二次会(屋台寿司)へと繰り出しました。二次会参加者は33名でした。(企画幹事 : 北川朝生)

セリ落札品集計表

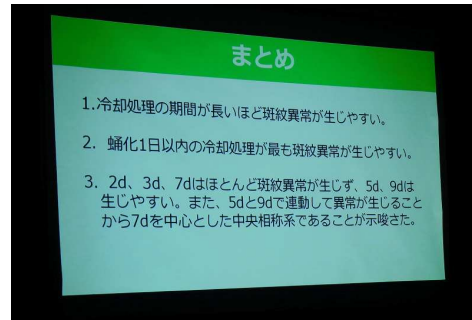
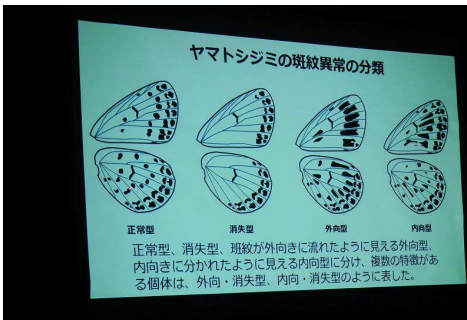
出品者	No.	品名	底値	落札値	落札値合計	返金額	寄付金額
多摩虫事務局	1	多摩虫バックナンバーAセット 1	1,000	1,000	5,000	0	5,000
	2	多摩虫バックナンバーAセット 2	1,000	1,000			
	3	多摩虫バックナンバーBセット 1	1,000	1,500			
	4	多摩虫バックナンバーBセット 2	1,000	1,500			
朝日純一	5	シナノヒメギフ展翅標本 6♂	1,000	3,000	16,200	12,900	3,300
	6	福井県嶺北地方バカ加展翅標本 6♂1♀	1,000	3,700			
	7	キルギス産未展翅標本①	1,500	4,500			
	8	キルギス産未展翅標本②	1,500	5,000			
北川朝生	9	オオウラギンヒョウモン 2♀	1,000	3,500	16,500	13,200	3,300
	10	カラフトヒョウモン 2♂1♀	1,000	2,000			
	11	マルバネリマダラ 1♂	1,000	1,000			
	12	アポロウスバシロチョウ 2♂2♀	1,000	5,000			
仲西周二	13	インペラトール 2♂2♀	1,000	5,000	19,500	15,600	3,900
	14	クモマツマキチョウ 4 蛹	1,000	6,500			
	15	ミカドアゲハ 4 蛹	1,000	1,000			
	16	ヒロオビミドリシジミ飼育・展翅標本 4♂2♀	500	1,000			
山田成明	17	ブルー・オオムラサキ展翅標本 1♂	3,000	11,000	6,000	4,800	1,200
	18	書籍「ラオス蝶類図譜」木曜社発行	3,000	4,000			
栗石 卓	19	書籍「世界のクワガタギネス」木曜社発行	2,000	2,000	8,000	6,400	1,600
	20	コノハチョウ 標本 1ペア	1,000	1,000			
	21	キボシアゲハ 標本 1ペア	1,000	1,000			
	22	ツマグロキチョウ 2♂ 標本	1,000	2,000			
渡邊恭成	23	スカシジャンノメとハカマジャンノメ 標本 4頭	1,000	4,000	3,500	2,800	700
	24	自作 空中設置式ライトFITトラップ	800	2,500			
中村 清	25	石垣島産 蛾2種2頭 展翅標本セット	1,000	1,000	13,000	10,400	2,600
	26	ムラサキシタバ 30卵	500	1,000			
	27	クロウスタビガ 未展翅標本5頭 (♂4♀1)	1,000	1,000			
	28	標本作製用軟化剤+注射筒セット	500	500			
小柴清之	29	裏磐梯産ミズナラのゼフ卵25卵 (種不詳)	500	6,000	16,000	12,800	3,200
	30	三角ケース 牛革製 (15cm×20cm×6cm)	1,000	4,500			
	31	オオゴマシジミ ♂♀ 2ペア	1,000	2,000			
	32	ミヤマシジミ ♂♀	1,000	4,000			
浅野正博	33	ミヤマシジミ ♂♀	1,000	5,000	4,000	3,200	800
	34	クロシジミ ♀	1,000	2,000			
早坂弘次	35	ゴマシジミ 展翅標本 1ペア	1,000	2,000	2,500	2,000	500
	36	シルビアシジミ 展翅標本 3ペア セット	1,000	2,000			
	37	捕虫網セット	300	500			
	38a	ホエブスウスバ展翅標本 1セット 1	500	1,500			
樋田 光	38b	ホエブスウスバ展翅標本 1セット 2	500	500	16,000	12,800	3,200
	39	リュウキュウムラサキ 1頭セット	1,000	2,000			
	40	蝶以外の飛ぶ昆虫セット	1,000	2,000			
	41	ベニモンカラスシジミ 6県ペアセット	1,000	6,000			
大野和美	42	セイタカスズムシソウの鉢植え	1,000	2,000	10,500	14,800	3,700
	43	三角紙標本セット	1,000	4,000			
	44	ウスバシロチョウ黒化型 2♀	500	500			
	45	トリエマアサギシロチョウ♂、ルリマダラ♀	1,500	2,000			
中村英夫	46	ウスイロフタオチョウ 2♂	1,500	3,000	11,000	8,800	2,200
	47	ディダミアモルフォ 1♂	2,000	2,500			
	48	オオクジャクアゲハ 1♂	2,500	10,500			
	49	スギタニ型ブルーオオムラサキ ペア	5,000	8,000			
相澤和夫	50	山梨県笛吹市産 ウラジャンノメ 2♂	500	1,000	600	2,000	2,300
	51	栃木県日光市産 クロヒカゲモドキ 2♂	1,000	2,000			
	52	ハチジョウカラス 展翅標本♂♀1ペア	600	2,500			
	53	ミヤケカラス 展翅標本♂♀1ペア	600	2,500			
鈴木陽花	54	トカラカラス 展翅標本♂♀1ペア	600	3,500	11,500	9,200	2,300
	55	オキナワカラス 展翅標本♂♀1ペア	600	1,500			
	56	アマミカラス 展翅標本♂♀1ペア	600	2,000			
	57	蛾ブローチ ミズアオセット 2個セット	500	2,500			
雨宮範正	58	蛾ブローチ ウスタビガセット 2個セット	500	2,500	14,500	11,600	2,900
	59	蛾ブローチ ヒトリガセット 2個セット	500	2,000			
	60	蛾ブローチ カトカラセット 2個セット	500	4,500			
	61	裏磐梯産ミドリシジミの卵 (20卵)	500	3,000			
渡辺 隆	62	ヒメギフチョウ 赤城山 展翅標本1	1,000	5,100	16,100	12,800	3,300
	63	シルビアシジミ採集品銚子産 展翅標本1ペア	1,000	5,000			
	64	アサマシジミ 赤城山-笹子産 展翅標本2ペア	1,000	6,000			
宮川 勉	65	蛾の切手 85種 5シートセット	1,000	3,000	6,000	4,800	1,200
	66	北米産大型ヒョウモン2種 展翅標本	800	3,000			
齊藤秀昭	67	原色世界蝶類図鑑 保育社 1冊	1,200	6,500	7,500	6,000	1,500
	68	北海道の蝶・北海道の昆虫・続北海道の昆虫	900	1,000			
	69	メネラウスモルフォ 展翅標本 その1	2,000	3,000			
	70	メネラウスモルフォ 展翅標本 その2	2,500	2,500			
福田幸雄	71	ユーゲニアモルフォ 展翅標本	2,000	5,000	15,500	12,400	3,100
	72	テレマックスモルフォ 展翅標本	1,000	1,000			
	73	美麗蛾セット	500	1,000			
	74	フクロウチョウ 1♂	1,000	1,000			
前合計	75	クラウディナアグリウス 1♂	2,000	2,000	14,500	11,600	2,900
	76	サヤン、アルタイ、アムールのカミキリ等	1,000	1,000			
	77	青森市産 ウスバシロチョウの卵 (33卵)	1,000	1,500			
	78	青森県ゴマシジミ 4産地 (各1ペア)	1,000	4,000			
後半合計	79	Parnassius maximinus maximinus 1♂	2,000	4,000	96,600	77,200	19,400
	80	蝶類	2,000	4,000			
前合計					144,700	111,700	33,000
後半合計					96,600	77,200	19,400
前合計					241,300	188,900	52,400



1. 石川光一氏「身近なチョウ・ヤマトシジミの世界」



2. 右田陽氏「冷温処理によるヤマトシジミの斑紋異常」(続編)



二次会の風景



セリ会 兼 忘年会

2017.12.10



グループ多摩虫2017年度
「忘年会」兼「昆虫何でも競り会」

